

LETTER FROM COPENHAGEN
コペンハーゲン通信 PART V
7



デンマーク王国 DATA

人口566万人(≒兵庫県)、面積4.3万平方キロ(≒九州)、欧州最古の王室を有する立憲君主国。「世界一幸福度の高い国」「環境・デザイン・福祉先進国」として知られ、アンデルセン童話、食器・家具・知育玩具などのブランドは日本でも有名。

本会事務局職員が、2007年1月より在デンマーク日本大使館に出向しています。国際競争力や人々の幸福度で高い評価を受けるデンマークからの現地報告を不定期にお届けします。



メディアでも話題のWefood。夕方には商品棚が空っぽになることも。



山口 晃平

在デンマーク日本大使館二等書記官
(経済同友会事務局より出向中)



デンマーク初！ 廃棄予定商品専門スーパーが誕生

2016年2月22日、コペンハーゲンに余剰食糧(賞味期限切れや、形がふぞろいの品等で廃棄される予定のもの)を中心とした廃棄予定商品専門のスーパー「Wefood」がオープンしました。

Wefoodは、毎年70万トン、金額にして116億デンマーク・クローネ(約1,926億円、1DKK≒16.6円換算)にも上る膨大な量の食品廃棄物に対する問題意識から、Dan Church Aidというキリスト教系の慈善団体によって設立されました。その資金はクラウドファンディングによって趣旨に賛同した人々から募られ、店舗の運営はボランティアの手助けによって賄われています。また、Dan Church Aidのホームページによれば、Wefoodで生じた利益は、同団体の発展途上国支援に活用されるそうです。

Wefoodでは、賞味期限切れ(かつ消費期限内)食品や、小さな傷がある野菜・果物、包装に難のある商品等、通常の小売店では販売していない商品が3~5割引きの価格で取り扱われています。日本のスーパーと同様に、デンマークのスーパーでも「見切り品コーナー」でこういった商品の一部が販売されていますが、それを専門に取り扱うスー

パーはデンマークでも初の試みとなります。

開店初日のオープニングセレモニーにおいて、プロジェクト責任者のビヤー氏は「Wefoodはデンマーク初の廃棄商品専門スーパーであり、低所得層のみに絞った店舗ではないことを考慮すれば、世界でも初めてのスーパーかもしれない。多くの人が、Wefoodはデンマークの食品廃棄物問題に対する前向きで政治的にも正しい対応方法であると見ている」と述べ、さらに、「1号店がうまくいけば、将来的に新たなWefood店舗を増やしていきたい」としています。また、オープニングセレモニーにはDan Church Aidの後援者でもあるデンマーク王室のメアリー皇太子妃殿下が出席されたこともあり、デンマーク国内でも注目を集めています。

先日、インターネットで節分の恵方巻きが大量廃棄されている日本のニュースを見ました。気になって調べてみたところ、日本でも年間1,700万トンの食品廃棄物が発生し、一部は飼料、肥料、エネルギー等へ再利用しているものの、約500万~800万トンは廃棄されているようです(農林水産省平成23年度推計)。このWefoodがそうした問題をすべて解決できるものではないと思いますが、一つのアイデアとして日本でも取り入れることができるかもしれません。